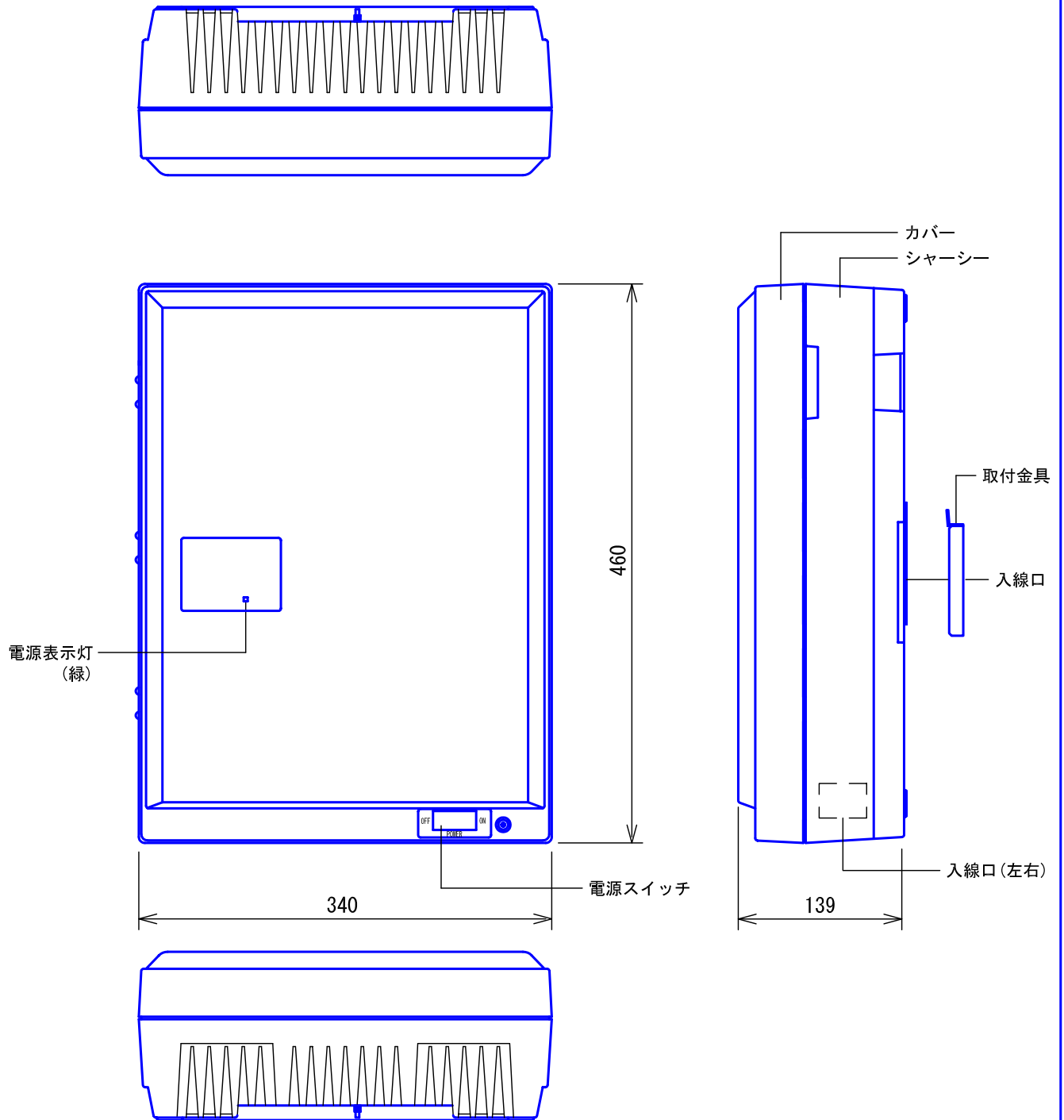
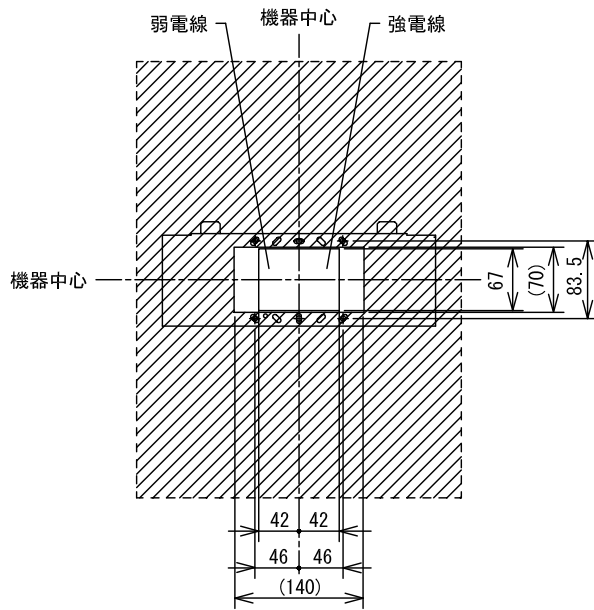


■外観図

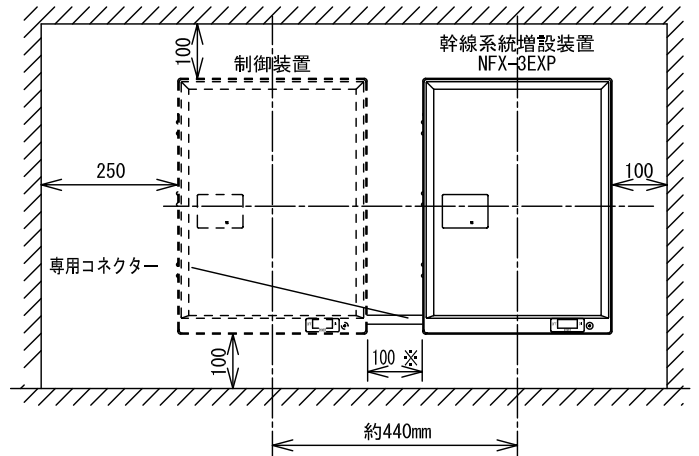


品名	幹線系統増設機 121局～240局	図名	外観図		単位	mm	作成	2005年6月10日
品番	NFX-3EXP	図番	N71561-1-4	頁	1/4	改訂	1	アイホン株式会社

●取付寸法



上下・左右に上記のスペースを確保のこと
(放熱・メンテナンス用)



※. 保守点検用としてすきまを開けて設置すること。
スイッチボックスの中心間を約440mmとすれば、
すきまが約100mmとなる。
コネクタの余長がないため100mmをこえないこと。

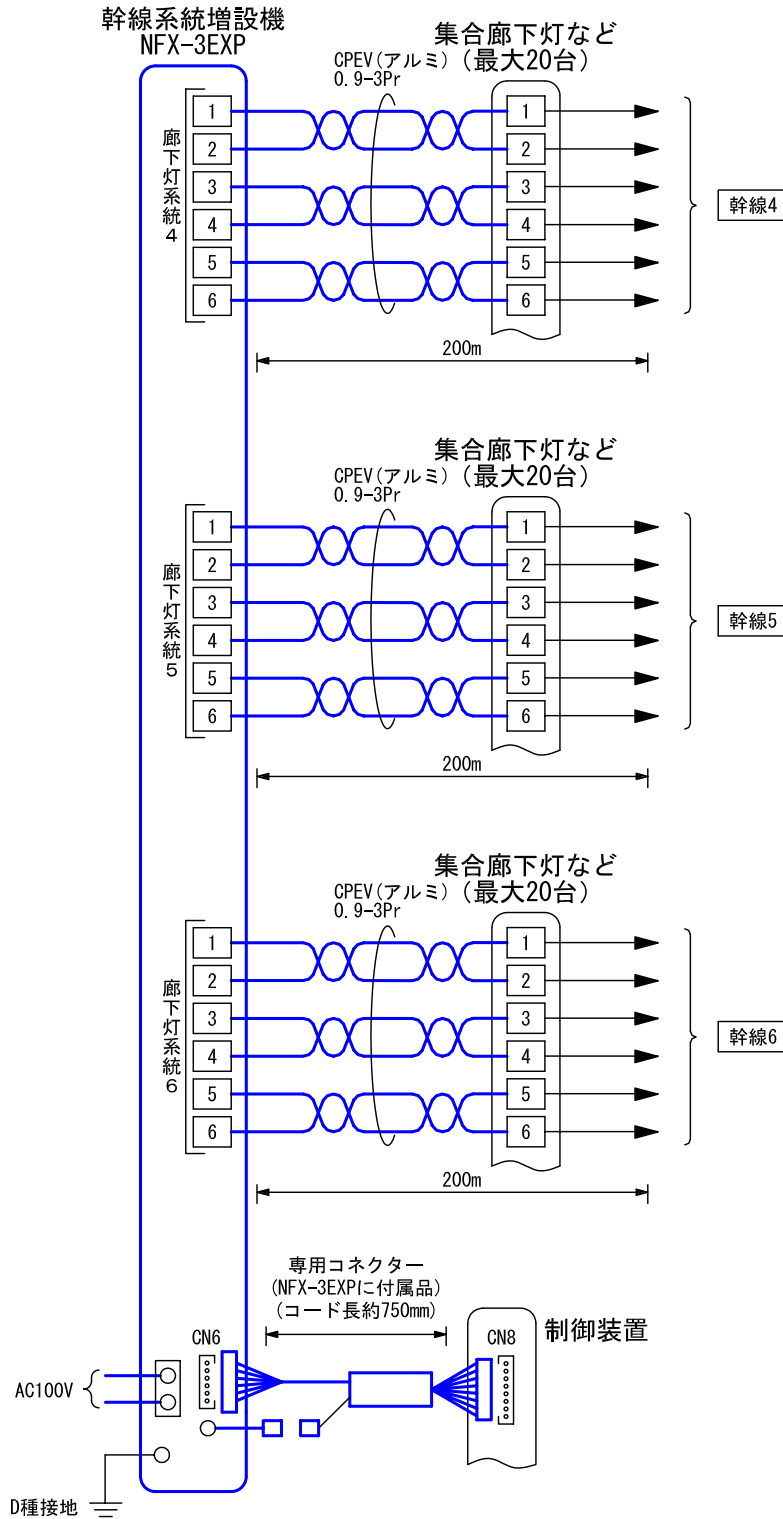
■仕様

電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	待受時168W 最大320W
使用温度範囲	0~40°C
使用湿度範囲	相対湿度最高値95% 年間平均75%未満
許容線路抵抗値	増設機一集合廊下灯 14Ω (最遠距離200m)
給電容量	増設機一集合廊下灯 DC36V 4.6A
通信方式	幹線系統増設機一集合廊下灯・アダプター 通信方式 $\pi/4$ シフトQPSK 搬送周波数 1.2MHz 送信レベル -2dBm
幹線系統数	3系統
集合廊下灯接続台数	制御装置に準ず(制御装置と合わせて最大120台※ 但し、1系統当り最大20台まで)
子機接続台数	制御装置に準ず(制御装置と合わせて最大240台※ 但し、1系統当り最大40台まで)
形状	壁取付型
適合ボックス	JIS3個用スイッチボックス セパレーター付
材質	自己消火性ABS樹脂
色調	エッグホワイト(5Y9/0.2 近似マンセル値)
質量	約6.1kg

※. フクダ電子(株)製 生体情報モニタDS-5700, DS-7600システムを接続時の集合廊下灯接続台数は最大119台、子機接続台数は最大239台

品名	幹線系統増設機 121局~240局	図名	取付寸法/仕様		単位	mm	作成	2010年6月23日
品番	NFX-3EXP	図番	N71561-2-4	頁	2/4	改訂	2	アイホン株式会社

■ 接続図



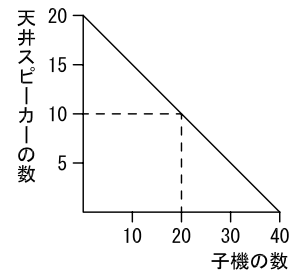
品名	幹線系統増設機 121局～240局	図名	接続図	単位	mm	作成	2005年6月10日	
品番	NFX-3EXP	図番	N71561-3-4	頁	3/4	改訂	1	
							アイホン株式会社	

■制約事項

- D種接地工事をすること。
- CPEVツイストペアケーブルを使用すること。
幹線はCPEV（アルミ）ツイストペアケーブルを使用すること。

- 一斉放送スピーカーの設置台数算出について
1系統当り

$$\text{一斉放送用スピーカー} = 20 - \frac{\text{子機の数}}{2}$$



- 幹線系統を分岐する場合について

- ・ 出力損失は37dB以内とする。
- 分岐数または廊下灯台数が多いときは出力損失を確認すること。
- ・ 廊下灯系統4, 5, 6には系統毎に2つずつ端子があり、それら2つ使用時「分岐1」とみなす。

計算方法

① 線路損失

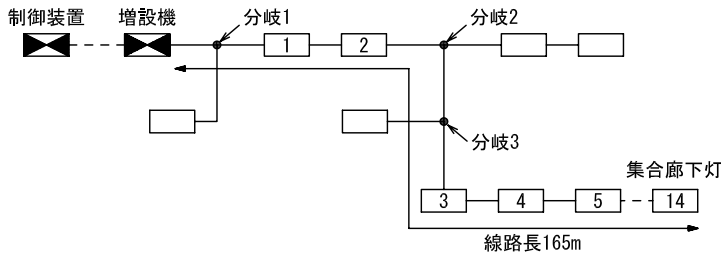
② 集合廊下灯損失

③ 分岐損失

$$\boxed{0.065\text{dB}} \times \text{最遠長距離} \text{ m} + \boxed{1.0\text{dB}} \times \text{集合廊下灯} \text{ 台} + \boxed{4.0\text{dB}} \times \text{分岐} \text{ 力所} \leq \boxed{37\text{dB}}$$

以内

(例)



集合廊下灯 (NO. 14) における出力損失

$$0.065\text{dB} \times 165\text{m} + 1.0\text{dB} \times 14\text{台} + 4.0\text{dB} \times 3\text{分岐} = 36.7\text{dB} < 37\text{dB}$$

品名	幹線系統増設機 121局～240局	図名	制約事項		単位	mm	作成	2005年6月10日
品番	NFX-3EXP	図番	N71561-4-4	頁	4/4	改訂	1	アイホン株式会社